

経営基本方針

1. 異常気象に対応し得る技術の平準化と指導力向上と土づくり支援
2. 米穀集荷体制の強化と米販売の強化
3. 土地利用型作物の栽培推進と農業生産拡大による農業所得の増大
4. 予約購買の向上を高めた生産資材の安定供給と店舗業務の整備・集約
5. 地産地消による管内農畜産物の消費拡大
6. 金融仲介機能発揮と豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現
7. 組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供
8. 法令遵守の徹底と持続可能な経営基盤の確立

指導事業

■営農企画課

重点実施事項

1. 異常気象に対応し得る技術の平準化と指導力の向上

- (1) 営農指導員の現場指導実践研修および外部研修を踏まえ、技術の平準化と指導力の向上を図ります。
- (2) 激しい気象変動を想定し、関係機関と連携のうえ技術対策を講じます。
- (3) 移植、直播栽培における初期の生育量確保を重視した指導に努めます。
- (4) 充実した現地巡回指導を展開しつつ、個別相談にも積極的に対応します。
- (5) 土壌分析、土壌診断を活用し、土づくりおよび施肥設計を提案します。
- (6) リモートセンシング^{*}による水稻生育量の把握や葉色仕分け等のスマート農業^{**}関連の試験実証を継続します。
- (7) 営農資材課・農業機械課と情報を共有し、新資材・新技術の実証試験や実演会等を開催し、相互連携を図りながら情報の提供と指導にあたります。
- (8) J A 情報メールを活用した気象・病害虫・技術情報の迅速な発信に努めます。

J A 情報メールへの登録方法

jamidori@star7.jp に空メールを送り、登録手続き用のメールを受信したら、必要事項を入力し、登録ボタンをクリックし完了です。
右のQRコードから簡単に空メールを送れます。



2. JA土づくり支援対策の推進

- (1) 土づくり資材の散布量を基準に、米の出荷数量に応じた支援を継続します。
- (2) 土づくりの面的拡大に向け、課題等を抽出しさらなる対策を検討します。

3. 需要に応じた米の生産と水田フル活用による需給調整対策

- (1) 販売需要および気象災害リスクを踏まえ、生産規模に応じた品種構成を提案します。
- (2) マーケットイン^{*}に基づく需用に応じた米の生産と経営所得安定対策により、水田フル活用で所得が確保できる需給調整を推進します。
- (3) 水田における需給調整品目は、生産者の所得確保ならびに実需者ニーズを踏まえ、飼料用米を最優先に、加工用米・新規需要米・大豆等への転換を促進します。
- (4) 園芸指導員と連携し、生産組織への研修会の開催等を通じ土地利用型園芸作物の生産振興にあたります。

4. 持続可能な水田農業・次世代へつなぐ農政運動の展開

- (1) 水田農業を基盤とした持続可能な農業経営の確立と、若者に魅力ある農業政策の実現に向けた農政運動を展開します。
- (2) みどりの食料システム戦略^{*}におけるカーボンニュートラル^{*}等の社会実装^{*}、並びにSDGs^{*}の持続可能な開発目標に向けた環境負荷低減対策に関する調査・検討を開始します。

5. 関連組織と連携した生産活動及び食農教育・米消費拡大の推進

- (1) 農業法人、大規模個人経営、生産組織等への指導・連携を強化し、各種新たな提案を行います。
- (2) 農業法人や大規模経営に向けた有益なスマート農業の取り組みを模索します。
- (3) 農政対協議会・青年部・女性部等を中心とした食農教育活動ならびに米消費拡大関連事業も常に新たな事業展開を模索し取り組みを進めます。
- (4) 各生産組合への状況調査を踏まえ、今後の組織のあり方について再度検討します。

用語解説

【スマート農業】

栽培環境の自動制御や自律的な環境対応などの先進技術により、従来型の農業の限界を超えた新しい農業の総称。

【リモートセンシング】

遠隔探査。物を触らずに調べる技術。観測機器（センサ）を人工衛星や航空機（無人ヘリ・ドローン）などに搭載し、上空から作物等を観測したりすること。

【マーケットイン】

商品の企画開発や生産において消費者のニーズを重視する方法。顧客ありきの販売。

【みどりの食料システム戦略】

農林漁業・食品産業の持続的な発展や食料の安定供給に向けて、2050年までの農林水産業の脱炭素化や減農薬、減化学肥料、有機農業割合の拡大などの重要業績評価指標（KPI）を掲げた国の中長期戦略政策。

【カーボンニュートラル】

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるという意味。

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

【社会実装】

技術で社会を変えようとすることや、技術を活用できる社会にすること。また、得られた研究成果を社会問題解決のために応用・展開すること。

【SDGs】（読み：エスディー・ジーズ）

国連サミットにおいて、すべての加盟国が合意した持続可能な開発目標。

世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を2030年までに全世界で解決に向けて取り組むとした計画・目標。

■担い手支援課

重点実施事項

1. 担い手の経営発展支援

- (1) 認定農業者や農業生産法人等に対して、セーフティーネットとして収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）や収入保険などへの加入を推進します。
- (2) 集落営農組織を母体とした農業生産法人に経理支援を実施します。
- (3) モデル法人に対して、関係機関と連携を図りながらプール計算方式への移行に向け支援します。
- (4) 農業生産組織連絡会議と連携し研修会等を開催し、課題解決・経営改善に向け組織間の情報共有を図ります。
- (5) 農業生産法人の状況調査を行い、課題・問題を整理しこれからの経営を支援します。
- (6) 園芸課と連携し、農業生産法人へ複合型経営の取組みを推進します。

2. 新たな制度に対応した担い手の育成

- (1) インボイス制度の導入に向けて、農業生産法人の従事分量配当制の対応方向を検討します。
- (2) 農業従事者の高齢化や減少を踏まえ、農業生産法人の将来的な関係・広域化・多層化を検討します。
- (3) 農地集積センターと連携し、「人・農地プラン」で明確化された担い手へ「農地中間管理事業」を活用し効率的な農地の集積・集約化を推進します。

3. 次代の担い手への就農・定着支援

令和3年度からスタートした「新規就農等支援対策事業」の推進を図り、円滑な就農促進と新規就農者の農業経営の早期確立、農業生産法人の雇用就農の拡充を図り支援します。また、雇用就農者等の農業技術習得に資する支援を検討します。

販売事業

■米穀課

重点実施事項

1. 米穀集荷体制の強化

- (1) JA集荷率の向上対策として、法人および系統外出荷者へ訪問推進を継続実施し、予約比100%以上を目標とした集荷・推進を図ります。
- (2) 委託搬入業者と連携し、パレット集荷の対応地域ならびに取扱い数量の拡大を図ります。

2. 産地・卸・実需との継続的な取り組みとコメ販売の強化

- (1) 実需から提案されている指定品種の試験栽培を実施し、新たなマーケットインによる取り組みを模索いたします。
- (2) 産地への理解を求め、取引先や消費者等との農業体験・産地交流会を復活し販売の強化に努めます。

3. 農産物検査業務・保管事業の効率的な運営

- (1) 高齢化による農産物検査員の減少を踏まえ、新規検査員の一般募集と、JA職員の資格取得を進め検査員の増員と確保に努めます。
- (2) 令和6年秋稼働の「北部ライスステーション」の建設にともない、全農集約倉庫の有効活用と、検査場所・倉移しおよび保管倉庫の再構築を検討します。

■園芸課

重点実施事項

1. 土地利用型作物の栽培推進

<実施具体策>

- (1) 水稲複合経営の高収益作物として「サトイモ」の作付推進を行います。
- (2) 砂丘地の耕作放棄地対策として「サツマイモ」の作付推進を行います。

2. 園芸生産拡大品目の推進

<実施具体策>

- (1) ミニトマト、アスパラガス、ネギ、シャインマスカット、ストックの栽培面積拡大による1品目1億円の販売高を目指します。
- (2) パプリカの販売高1億円の維持向上を目指します。
- (3) 品目による専門部体制を進め生産拡大の強化を図ります。

3. 選果施設統合による経費削減

＜実施具体策＞

- (1) 複数箇所を選果している品目を1箇所での選果への集約を進めます。
- (2) 出荷荷姿等の簡素化を検討し経費削減を図ります。

4. 新たな販路と企画販売の拡大

- (1) 新たな販路を開拓するとともに輸出販売の取り組みを行います。
- (2) 安定価格維持を図るため値決め等による企画販売を拡大します。

■畜産課

重点実施事項

1. 畜産技術・経営の強化

- (1) 関係機関と連携し各畜種の生産技術指導、管理指導を強化し生産性の向上を図ります。
- (2) 財務状況の確認と経営指導の徹底に努めます。
- (3) 国、県、行政の有益な補助事業について、既存農家や後継者への積極的な情報提供を通じ経営強化を支援します。

2. 家畜防疫衛生体制の強化

- (1) 農場における衛生管理を徹底し防疫対策を継続・強化します。

3. 自給粗飼料の確保

- (1) 耕畜連携に取組み、生産コストの低減を支援します。

4. 地産地消による消費拡大の取組み

- (1) 関係機関、関係部署と連携し地産地消による消費拡大を推進します。

■総合対策室

重点実施事項

1. 農業者の所得増大

- (1) 施設園芸拡大支援事業による、高収益型施設園芸の定着化とさらなる産地形成を図ります。

2. 農業生産の拡大

- (1) 長ねぎの作業受託と共選による、安定した出荷数量の確保と品質の高位平準化を図ります。
- (2) シャインマスカットの実証展示を継続し、産地形成の促進と栽培技術の確立を図ります。

3. 農業労働力の確保

- (1) 無料職業紹介所による、農業労働力の確保に向けた支援を行います。
- (2) 種々の媒体を活用した求人情報の発信を行い、潜在求職者の掘り起こしを図ります。
- (3) 農業アルバイト募集アプリの活用を推進します。

次年度に、機構の見直しを予定しており総合対策室の重点事項は、営農販売部園芸課で引き続き実施する予定です。

購買事業

■営農資材課

重点実施事項

1. 価格情勢に応じた生産資材の安定供給

- (1) 保管施設を最大限活用し、早期引取りメリットを活かした価格での提供と商品の安定供給に取り組みます。
- (2) 生産者ニーズに応じた低コスト、省力資材の取扱いの拡大を図ります。
- (3) 新商品情報に努め、広報誌や展示会を利用した情報発信を行います。

2. 予約購買の向上

- (1) 訪問も含めた推進を行い、予約の積み上げと予約精度の向上に努めます。
- (2) 予約積み上げによる注文数量を確定し、早期発注による値上げ幅の圧縮に努めます。
- (3) 各課と連携した情報共有に努め、商品知識の習得に努めます

3. 店舗業務の整備・集約

- (1) OCR^{*}を活用した事務の効率化を図り、各資材店舗の業務集約を行います。
- (2) 広域中央配送センターを拠点とし、資材供給体制を整備し配送効率化の促進を図ります。
- (3) 休日営業体制を見直し、組合員ニーズに対応した品ぞろえを目指します。

用語解説

【OCR】

画像データのテキスト部分を認識し、文字データに変換する光学文字認識機能のことを言います。具体的にいうと、手書きの文章や印刷された文字を、イメージスキャナやデジタルカメラによって読みとり、コンピューターが利用できるデジタルの文字コードに変換する技術です。営農資材課では予約注文書の読込等に活用していきます。

■農業機械課

重点実施事項

1. 訪問活動とイベントによる低コスト農機情報の提供

- (1) 訪問推進と広報を活用し最新の農機情報を提供します。
- (2) 展示会への集客により幅広く商品を紹介します。

2. 資格取得により人材育成と修理整備体制作り。

- (1) 整備修理研修の積極的参加と資格取得による整備技術の向上を図ります。
- (2) スマート農業・新型農業機械に関する研修等に参加し営業力の向上に努めます。
- (3) 出張修理車両活用により利便性と作業の効率化を目指します。

3. 農作業事故と機械故障防止に対する啓発活動

- (1) ポスター掲示・声掛けによる農作業事故防止の啓発活動を行います。
- (2) 農作業時の機械トラブル防止のため、予約点検整備と早期の修理依頼を呼び掛けます。

■生活特産課

重点実施事項

1. 顧客満足度を高めた管内農畜産物の消費拡大

<実施具体策>

- (1) 産直（インショップ）の生産者の新規加入を勧め、取扱い拡大を行います。
- (2) 関係機関との連携を密にし、管内農畜産物の消費拡大に取り組みます。
- (3) J A庄内みどりファン倶楽部の拡大と、顧客満足度を高めた活動の展開を図ります。
- (4) 特産品の新商品開発ならびに取扱品目の拡充を図ります。

2. 地域の食と農、健康を支える生活事業の展開

<実施具体策>

「食と農、環境保全」の学習と消費者へのPR活動を女性部と連携を図り活動します。

■加工販売課

重点実施事項

1. 産地精米のメリットを生かした精米販売拡大

- (1) 生産管理を徹底し、安全安心な精米販売を行います。
- (2) 産地精米のメリットを生かした精米推進を行います。
- (3) 管内の精米を広く全国にPRするため、積極的に「ふるさと納税」の返礼品として提案します。
- (4) より便利で確実な配送・配達を目指し「こめ蔵」と「精米センター」の連携強化を図ります。

2. 新たな店舗運営に向けた直売所の活性化

<実施具体策>

- (1) 直売所（山居館）の利用拡大を、生産者とともに取り組みます。
- (2) 生産者の技術向上および新規加入者の拡大を図ります。
- (3) 青果物の少ない時期に、お客さまのニーズに対応した仕入販売を実施します。
- (4) 新店舗の運営に向けた戦略を構築していきます。
- (5) インボイスに対応した仕組みを構築していきます。

信用事業

重点実施事項

1. 組合員・利用者のニーズに応えるサービスの提供

<実施具体策>

- (1) ローンセンターを幅広く周知し、融資相談機能の充実を図ります。
- (2) インターネットを活用した取引を拡大し、幅広い年齢層の顧客利便性向上に努めます。
- (3) 各年齢層が利用しやすい金融商品、相談機能の充実を図ります。

2. 農業・地域・くらしの領域における金融仲介機能の発揮

<実施具体策>

- (1) 部門間の情報共有を図り、お客さまのライフイベントに合った情報の提供を図ります。
- (2) お客さまの幅広いニーズに応えるため、支店金融窓口とインターネットを活用した営業力強化を目指します。

3. 業務効率化によるコスト構造の見直しと人材育成

<実施具体策>

- ①貸出システム運用による組合員・利用者の利便性向上と業務効率化をすすめます。

- ②職能に応じた研修会への参加や各種勉強会を実施し、お客さまから頼られる人材の育成を図ります。

共済事業

重点実施事項

1. 組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供

- (1) 組合員・利用者のライフステージに応じた万全保障提供のため、「定期生命共済（逡減期間設定型）」（新設）や「認知症共済」の案内を契機とし、各世代の利用者ニーズ、家計に応じた保障サービスの一体的提案を行っていきます。
- (2) 自然災害を踏まえた万全な「いえ保障」の提案を行っていきます。
- (3) 農業リスク診断を通じ、「農業保障」の提案を行っていきます。
- (4) 組合員・地域住民とのつながり強化に向け、地域貢献活動に取り組めます。

2. 共済事業の長期安定的な展開

- (1) 全契約者・組合員への接点強化に努め、「対面」と「非対面」が融合した3Q活動^{*}を実施し、新たなサービスの提供や保全活動を行っていきます。
- (2) 他部門との連携を取りながら未加入組合員へのアプローチを実施していきます。
- (3) デジタル活用による利便性向上に向け、Webマイページ^{*}等非対面による手続き・接点の拡大・強化を図ります。

3. 利用者満足度向上への取組みおよびコンプライアンス態勢強化等による健全性・信頼性の強化

- (1) 組合員・利用者の声を共有し信頼と利用者満足度の向上に努めます。
- (2) 不祥事件等の未然防止に向け、コンプライアンス態勢の強化に努めます。
- (3) 組合員・利用者から信頼されるライフアドバイザー（ふれあい担当者）・スマイルサポーター（窓口担当者）の育成に努めます。
- (4) 高齢者推進における推進プロセスの徹底を図ります。

用語解説

【Webマイページ】

スマートフォンやパソコン等に登録することにより、契約内容の確認や住所変更等の異動手続きができるサービスです。

【3Q活動】

サンキュー（感謝）の意味も込め、①ご家族の皆さまにお変わりないかの確認（入院等の有無の確認）②ご契約の保障内容の確認③ご家族の皆さまの保障点検確認の3つの質問（クエスチョン）を行うことで安心と満足感を提供する活動です。

経営管理

■総合企画部

重点実施事項

1. 持続可能な地域・組織・経営基盤の確立

- (1) ウィズコロナ・ポストコロナ時代において人と人との結び付き確保に向け、JAと組合員の関係強化に努めます。
- (2) 改革の実践を支える経営基盤の強化に向け、財務の健全性確保、経営資源の活用を図ります。
- (3) 支店を中心とした地域の活性化と情報発信に努めます。

2. 地域に根差した将来を担う人材育成・確保と働きやすい職場環境づくり

- (1) 組合員の負託に応えられる優秀な人材の確保に努めます。
- (2) 職員の資格取得を推奨し、専門的知識の習得と資質向上に努めます。
- (3) 地域貢献活動の実践に努めます。

3. 財務基盤の強化と信頼確保のための法令遵守の徹底

- (1) 不良債権化の未然防止と、適正な資産査定の実施に努めます。
- (2) 不祥事未然防止に向けた内部管理態勢の整備強化に取り組みます。
- (3) コンプライアンス・プログラムに基づく確実な実践に努めます。

■福祉課

重点実施事項

1. サービスの質の向上によるサービス基盤と人的基盤の整備

- (1) ICT^{*}の強化による生産性の向上と災害対策を行い、安定運営を実施します。
- (2) 各事業の特性を活かし、サービスの質を高めます。
- (3) 人材の確保・定着と専門性を活かす人材育成をすすめます。

2. 安心してくらせる居場所づくり、社会参加をサポート

- (1) 「JA健康寿命100歳プロジェクト」活動を実践します。
- (2) 通いの場（「多機能ハウス 結い」および「グループホーム 結い」）を活用した居場所づくりを行います。
- (3) 地域共生社会に向けた事業検討を行います。

3. 助けあい組織の基盤整備

- (1) 「JA健康寿命100歳プロジェクト」活動の健康づくりや通いの場での居場所づくりの活動等を組織が実施主体となり行えるようにすすめます。

用語解説

【ICT】「Information and Communication Technology」の略称です。日本語では、「情報通信技術」と訳され、コンピュータを単独で使うだけでなく、ネットワークを活用して情報や知識を共有することも含めた幅広い言葉です。

■監査室

重点実施事項

1. 法令順守に基づく内部体制の検証と指導の強化

内部統制確立に向けて自主検査の実施状況・運用状況と、リスクに対応じた監査を行い内部管理の検証と指導を図ります。

2. 監査技術の向上と関係機関との連携

研修会の参加により監査人の資質と監査技術の向上に努めるとともに、監事・監査法人と情報を共有し効果的・効率的な監査を図ります。

■各支店目標

酒田中央支店

お客さま・地域皆さまより信頼される金融機関として、期待に応えられるようサービスの向上に努めてまいります。

- (1) お客さまニーズに対応した商品のご提案と、接客サービスに努めます。
- (2) 3Q訪問活動を通して、ひと・いえ・くるまの総合保障の充実と提案を行いお客さまから信頼される対応を目指します。

酒田きた支店

組合員・利用者本位の業務運営を実践し、さらなる顧客満足度の向上を目指します。

- (1) 地域の金融機関として、ニーズにあった提案・情報提供に努めます。
- (2) 総合保障の充実と利用者の満足度の向上を目指します。
- (3) 良質米生産のための土づくりと生産技術指導の強化を実践します。

酒田ひがし支店

組合員・地域住民に信頼される支店を目指します。

- (1) 真摯で誠実な対応と、信頼・親しまれる店舗運営を目指します。
- (2) 3Q訪問活動を通して契約者満足度の向上と、ライフスタイルに合った保障提案を行います。
- (3) 水稲・大豆の安定生産に向けた技術指導の強化を実践します。

酒田みなみ支店

柔軟かつ的確で責任感のある職員の育成とそれができうる態勢を構築します。

- (1) 明るいあいさつと、お客さま目線で対応できる店舗を目指します。
- (2) 地域に密着した親切・丁寧・迅速な対応を心掛けます。
- (3) 安定収量確保に向けた技術指導を実施するとともに、指導員のスキルアップに努めます。

遊佐支店

組合員・顧客ファーストの丁寧な対応と、安定生産による持続可能な農業の展開をすすめます。

- (1) 若年層、子育て層との取引強化を図り、町指定金融機関として信頼性をより高め地域貢献に努めます。
- (2) 共済知識向上と情報の共有化をより一層進めます。
- (3) 営農指導の強化と、広域型法人の課題整理に取り組みます。

八幡支店

親切丁寧で的確な対応ができ、信頼される支店を目指します。

- (1) 幅広い層のお客さまに対応できるよう商品知識の向上に努めます。
- (2) 「ひと・いえ・くるま」の総合的な推進活動ができる知識を身につけます。
- (3) 生産力向上と収益の確保を図りながら集荷率の向上に努めます。

平田中央支店

地域住民から頼りにされる支店運営を目指します。

- (1) 組合員やお客さまへ丁寧できめ細やかな対応に努めます。
- (2) 契約者満足度の向上と、仕組みや知識の習得に努めます。
- (3) 平田中央C E利用面積の拡大を推進します。

松山支店

組合員満足度の向上を支店全体で取組みます。

- (1) 笑顔で迎えて組合員・利用者から頼られる金融窓口を目指します。
- (2) 暮らしの中で家族と一緒に安心できる保障を提供します。
- (3) 組合員との経営相談や営農研修会の開催、農地所有適格法人への支援に努めます。

(株)みどりサービス

重点実施事項

■葬祭

本質である「葬儀とは故人を偲ぶ行事」であることを忘れず、若い世代にも満足いただける葬儀を提案してまいります。

- (1) ホームページ・チラシなどによるJA葬祭のPRを行います。
- (2) 新設した新家族葬及び親族葬ホールの利用率の向上を図ります。
- (3) 葬儀担当者の資格取得と研修会参加によるスキルアップに努めます。



新家族葬及び親族葬ホール



新安置室

■自動車

自動車生産の遅れや市場価格高騰などに対応し、利益確保に努めるとともに、優れた技術と心のこもったサービスを提供します。

- (1) モバイルツールを活用して、お客さまに最新情報を提供し販路拡大に努めます。
- (2) 専門的整備技術の修得による次世代自動車等の販売を強化してまいります。
- (3) 自動車課全員による、車検から一般整備までの総合的な推進活動を行います。

■燃料

変化する業界情勢や厳しい競争環境の中、お客さま目線のサービスを提供してまいります。

- (1) 給油機器と洗車ユニットを連動した共通のサービスを展開します。
- (2) 中山間地と大口利用者に、通信機器を活用した灯油配送顧客管理を試みます。
- (3) スタッフの講習会・研修会参加で個々のスキルアップを図ります。

■ガス

お客さまのニーズに応じた柔軟な営業活動をしてまいります。

- (1) 展示会やチラシを有効活用し、お客さまのライフプランに応じたガス器具の販売に努めます。
- (2) お客さまの要望に的確に答えられる提案活動を実施します。
- (3) コインランドリー事業の集客増加を図ります。

■マルノー山形（開発営業）

地域の食材を有効活用した特長ある商品の開発と、消費者ニーズを捉えた営業活動に取り組んでまいります。

- (1) 企業連携や共同開発となる業務用醤油、味噌の販売拡大に努めます。
- (2) Webショップの推進、カタログ通販等を利用し、全国に向けて販路拡大を図ります。
- (3) コスト削減に向けた適正在庫管理と商品アイテムの整理を行います。

■マルノー山形（製造）

安全で衛生的に、効率良く生産することにより確かな製品づくりに努めます。

- (1) コンプライアンス体制強化に向けた職員研修を実施します。
- (2) 業務に必要な各種資格の取得を積極的に推進します。
- (3) 関係機関で開催する食中毒防止啓発や労働災害に関する研修会に参加し、事故防止に努めます。

■管理

社会情勢に対応した事業運営と、将来を見据えた人材確保と教育に取り組んでまいります。

- (1) 多岐にわたる業務に対応するスキルアップを図ります。
- (2) 正確を期する業務処理の指導と構築に努めます。
- (3) 事故・クレーム・不祥事ゼロ運動の教育を実践します。